

デイヴィッド・ヒューム『人間本性論 第一巻 知性について』

木曾好能訳、法政大学出版局

新装版（2011）刊行にあたって修正を検討した箇所の一覧

ページ	初刷（1995）の記述	問題	修正の有無、内容等
iv（訳註 331）	実際の節での順序	日本語表現	「実際の叙述の順序」と修正。
x（目次）	文献表	本体は「文献一覧」（617）	「文献一覧」で統一。
8（訳註 331）	ベーコン	索引「バイコン」（22）	「ベーコン」で統一。
8（訳註 331）	シャフツベリー	索引「シャフツベリ」（12）	「シャフツベリー」で統一。
8（訳註 332）ほ か	『人間本性論概要』	邦訳のタイトル『人間本性論 摘要』と不一致。	そのままにする。
29（訳註 335）ほ か	『人間の知識の諸原理 論』	邦訳のタイトル『人知原理論』 と不一致。	そのままにする。
33-34	（原註一）	「附録」からの挿入だが、[] なし。	[]に入れる。
42（訳註 337）ほ か	『新しい視覚論のための 試論』	邦訳のタイトル『視覚新論』 と不一致。	そのままにする。
46（訳註 338）ほ か	マルズユ（Nicolas de Malezieu 一六五〇～一七 二九年）	一部レファレンスに、 Malézieu とあり。没年は各種 レファレンス「一七二七」。	没年のみ訂正。
62	Lectiones Mathematicae、一 六八五年	各種レファレンス「一六八三 年」	訂正。
71（訳註 340）	『哲学の諸原理』	文献一覧『哲学の原理』（623）	『哲学の諸原理』で 統一。
77（訳註 340）	ガレノス（Galenos 紀元前 一二九～九九年）	各種レファレンス「一二九～ 一九九年」	訂正。
81-82	（原註一）	「附録」からの挿入だが、[] なし。	[]に入れる。
92（訳註 341）ほ	『デカルト全集』…第九 一巻	文献一覧「第九一巻」（623）	「第九一巻」で統 一。

か			
111 (訳註 345) ほか	『人間知性探究』	邦訳のタイトル『人間知性研究』と不一致。	そのままにする。
117 ほか	「シーザー」ほか	固有名に英語読みとラテン語読み等が混在。	そのままにする。
124 (訳註 346)	「ラレーシュ」	「ラフレーシュ」の誤り。	訂正。
169	「九～一〇頁」	ノートン版は Sects. 9, 10 と読み換え。	そのままにする。
181 (訳註 348)	「ド・レッツ」「(一六一四～七九)	Retz の読みは「レ」「レス」。生年はレファレンス類「一六一三.」。	「レス」「一六一三」。
187	「マルブランシュ」	敬称脱落。	「マルブランシュ師」(283 に合わせる)。
189 (訳註 349)	「この段落は」	末尾の原註まで「附録」からの挿入であることが不明確。	「この段落と末尾の原註は」
256 (訳註 351)	「シシフォス」「フリギア」	事典等では「シシュフォス」「フリュギア」が一般的。	そのままにする。
283 (訳註 353)	「ヘーリンクス」	「ゲーリンクス」が一般的。	そのままにする。
307 (訳註 354-5)	アンティステネスの生年「紀元前四四五年頃」、ディオゲネスの没年「三二五年」	レファレンス類ではアンティステネスは紀元前 455 年ごろ生、ディオゲネスの生没年はいろいろ。	アンティステネスの生年「紀元前四五五年頃」、ディオゲネスの没年「三二五年頃」。
359	姉キャスリンの生年「一七一〇」	モスナーの伝記に付属の家系図では「1710?」	「一七一〇頃」にする。
359	エディンバラのカレッジを去った年「(一七) 二六年」	モスナーの伝記では 1725 か 1726 か未詳。泉谷『ヒューム』(研究社)の年譜では「一七二五」。	「二五または二六年」とする。
362	ウィーンとトリノへの派遣の年。「一七四七～八年」	ヒュームの「わが生涯」では 2 年間と書かれているが、実際にイングランドを出発した	「一七四八年」とする。

		のは 48 年の 2 月。	
362	同一書 (<i>Political Discourses</i>) について『政治論集』『政治論』の 2 種の記述。		『政治論集』で統一。
362	『諸論集』の刊行年。「一七五三年」	モスナーによると、1753-6 年にかけて。	「一七五三～六年」とする。
368 ほか	「我々」	本文「われわれ」。	解説中の引用は「われわれ」のままなので意図的と思われる。そのままにする。
373	地の文で「われわれ」。	解説の地の文ではほぼ一貫して「我々」。	「我々」とする。
382	「人間の知識が事実において不完全性である」	文章表現。	「性」をとる。
451f., 461	Particularism	大文字にする理由が不明。	ほかにも特定の語句を大文字にしている例 (497) があるのでそのまま。
452, 623	『哲学の原理』	訳註『哲学の諸原理』(340)	『哲学の諸原理』で統一。
452 ほか	『論理学』	文献一覧『論理学または思考術』(620)	『論理学』は略記として誤解のおそれがないのでそのまま。
475	「公理」(共通概念)とは区別された意味で、普通に「公理」と呼ばれている。…なぜ幾何学の公理が厳密でないかという、公理に含まれる…	「「公準」と呼ばれている」等とあるべきとも思われるが、今日普通に幾何学の公理と呼ばれるものはユークリッドの公準であるということか。	このまま。
480	「第一章 [八] 参照」	「第一節」とあるべきでは。	「第一節 [八] 参照」
484	「傍線部」	傍線部はない。「傍点部」とあるべきか。	「傍点部」と訂正。
497	「the Launching Effect」	大文字にする理由が不明。	ほかにも特定の語

	「the Entraining Effect」		句を大文字にしている例 (451f.など) があるのでそのまま。
498	「バウワー」 (x2)	文献一覧「バウアー」(624, x2)	「バウアー」で統一。
503	(四)「A は p ということを…」	(三) まで「a は p ということを…」等小文字。	(四)「a は p ということを…」
504	「総合命題」	この意味では「総合」とするよう思っていたが、「総合」のほうが一般的らしい。	そのまま。
513	(イ) (ロ) (ハ) から (二) 抜きで (ホ) に続く。	カナの (二) と漢数字の (二) の混同を避けるためか。	そのまま。
515	(ホ) の次が (へ) 抜きで (ト)。	(へ) はカタカナとひらがなの区別がつきにくいいためか。	そのまま。
523, 533., 562, 563	(イ) (ロ) (明朝)	他の箇所ではゴシック。	ゴシックにする。
595, 624, 索引 21	「フォージェリン」	本人に訊いたところでは「フォグラン」に近い。既存訳書では「フォグリン」。	「フォグラン」とする。
604, 606	() 内のポイントを落とした部分の数字。	字体が不統一。	606 に合わせる。
617	文献一覧	目次は「文献表」(x)	「文献一覧」で統一。
618	1973 (ドイツ語訳『人間本性論』新版の刊年。)	1978 の誤り。	1978
620	『論理学または思考術』	解説『論理学』(452 ほか)	『論理学』は略記として誤解のおそれがないのでそのまま。
620	Librairie Philosophique, J. Vrin	623 ではカンマなしの Librairie Philosophique J. Vrin Vrin のウェブサイトではカンマなし	カンマなしで統一。
620	1931 (キケロ、finibus の	初版 1914、第二版 1931。	「Second edition,」挿

	刊年。)		入。
621	Phapsody (シャフツベリー著書タイトル中。)	Rhapsody の誤り。	Rhapsody
622	1927 (『スピノザ全集』出版年)	Webcat によると 1925	1925
622	Devine (ケンプ・スミス論文集の書名中)	Divine の誤りか。	Divine
623	『デカルト全集』…第九-1 巻	訳註「第九-1 巻」(341)	「第九-1 巻」で統一。
623	『神学大全』高田三郎ほか訳、創文社。	巻数、刊年欠。	『神学大全』一～四五、高田三郎ほか訳、創文社、一九六〇～二〇〇七年。
623	『バークリー全集』	巻数欠。	「9 volumes,」を挿入。
624	「パウアー」(x2)	解説「パウワー」(498, x2)	「パウアー」で統一。
624	T. G.. R, Bower	R のあとはドットであるべきがコンマ。	T. G. R. Bower と訂正。
625	ベール『辞典』邦訳の刊年欠。		「、一九八二～七年」挿入。
626	『マルブランシュ全集』	刊年欠。	「, 1958-68」挿入。
626	マルブランシュ『真理の探求』…(1674-5)…1962-3	原書刊行年は通例イタリックにしない。この版の刊行年は1962として表2に記載されている。	イタリック解除。1962-3は1962に。
627	causalite (ミショット著書の原題中。)	最後の e はアクサンテギュが必要。	causalité
索引 12	シャフツベリー	本文、訳註「シャフツベリー」(8、訳註 331 ほか)	「シャフツベリー」で統一。
索引 22	ベイコン	本文、訳註「ベーコン」(8、訳註 331 ほか)	「ベーコン」で統一。